

2022 年秋学期 プリンセドワード大学 帰国生アンケート

※注意※ ここで記載されているアンケート回答は**全て個人の主観によるもの**であり、あくまで『参考情報』としてみなさんに開示しています。**正しい情報とは限りません**ので、その点について了承した上で留学準備に活用してください。

1. 授業について

授業の形態や進め方はどんなものでしたか。

授業時間は 9 時から 14 時半までで、昼食時間と休憩時間が含まれていました。全ての授業が対面でした。リスニング、ライティング、リーディング、スピーキングすべての技能を満遍なく学ぶことができるようになっていました。

主に、リスニングとリーディングの教科書を使用して授業を行っていた。自主的に発言する機会が多く、特に文章を読む機会が私にとってには良かった。なぜなら、間違っている発音を指摘してもらったり、発音の時の舌の使い方を教えてもらったりすることができた。また、リーディングの単元でトピックが宇宙だった時は映画を見ることもできた。どれだけ自分が英語を聞き取ることができたのかなど自身の英語力についても理解することができる機会だった。

授業のスピードは比較的ゆっくりに感じた。

私のクラスは、教科書を購入してそれに沿って授業を行う形式だった。さらにエッセイやプレゼンテーションも頻繁に行った。宿題はほぼ毎日あり、単語の意味を調べて授業に活用する感じだった。

スピーキングとライティングを中心とした、グループワークが多めの授業でした。外大の授業と少し似ていて、現地で購入したテキストをもとに授業を受けていました。個人プレゼンやグループプレゼンが三回ほどありました。文法は中学高校レベルで比較的簡単でした。生徒の分からないところはプリントなどを作って、分かりやすく解説してくれました。

関西外大での必修の英語授業と同じような進め方でした。シラバスに沿って、ユニットごとに文法や新しい語彙や連語を学んでいきました。

授業はEAPコースという英語を勉強するクラスとSDGsのクラスがありました。EAPコースは文法、リスニング、プレゼンテーション、ライティングなどいろいろなことを授業で学びました。また、自分でディスカッションのテーマを決めて自分が中心になってクラス全員に質問をし先生の役割をするような練習もしました。SDGsのクラスは、ボランティア活動があって地域の人の手助けをするということもしました。また、授業の最後にはプレゼンテーションとポートフォリオの制作などもしました。

教科書を中心に進めていた。

対面授業で、プロジェクターや教科書を使って進められた。

授業では 4 技能であるスピーキング、リーディング、ライティング、リスニングを勉強しました。1 週間から 2 週間で 1 単元(教科書のユニット)が終わるように進みました。ペアワークの機会が多く、また先生に発音を直してもらった機会が多かったので、コミュニケーション力がついたりよりネイティブに近い発音することが出来るようになりました。

レベルごとにクラスが分けられて、そこでライティング、リスニング、コミュニケーションの授業を行った。自分のレベルに合っている、もしくは少し難しかったので授業内容は良かったと思う。しかし、成績の付け方がレベルごとにばらつきがあるのが気になった。

クラス人数、日本人と留学生比率、留学生の出身国などについて教えてください。

クラス人数は、15 人中 2 人が外国人でした。1 人は中国人ともう 1 人はイラン人でした。

私のクラスは日本人 12 名、イラン人 1 名の合計 13 名だった。日本人留学生が 12 名だったが、同じ大学の生徒は自分を合わせ 4 名で、その他の生徒は私たちの大学とは異なる大学の学生だった。他のクラスも同じ留学生比率だったが、高いレベルのクラスは少し外国人の比率が高かった。

クラス約 13 人、そのうちの 2 人は中国人とイラン人

| |
|--|
| 13人中12人が日本人だった。1人の留学生はイラン出身で隣の席だったので仲良くなることが出来た。 |
| 15人クラスのうち、13人が日本人でした。他の留学生はイラン人一人、中国人が一人でした。 |
| クラスは11人～16人の少人数でした。大体日本人は7割ぐらいいました。留学生は、中国、スペイン、ウガンダの出身です。 |
| EAPクラスの人数は13人でした。そのなかでも日本人は12人とほとんどが日本人でした。1人だけが外国人でイラン出身の人でした。また、SDGsのクラスは関西外大から留学にきた全員の13人での授業でした。なので外国人は一人もいませんでした。 |
| クラス13人でそのうち2人は日本以外の国からきた留学生(中国とイラン) |
| クラス人数は13人でそのうち12人が日本人、1人がイラン人だった。外大生は4人。 |
| 15人、日本人13人、中国人1人、イラン人1人 |
| クラスはほとんど日本人だった。二番目に中国人、他には少数だが、スペイン人、アフリカ出身の人などもいた。 |

| クラスの雰囲気はどんなものでしたか。 |
|---|
| とても楽しい雰囲気でした。みんなが積極的に先生に質問したり、話したりしていました。 |
| 積極的に発言する機会があったり、毎週2回朝にディスカッションがあるので題材に対して質問したりするなど英語で発言する機会があり、発音の練習などもあった。日本で英語の発音を正確に習ったことがなかったので楽しかったし、勉強になった。 |
| 日本のクラスと特に変わりなし |
| わからないことがあれば躊躇なく質問したり、自分の意見があれば発言を行ったりと、日本では受け身の授業が多いが、自分たちで授業を良くしていく感覚があった。 |
| 私のクラスは先生が誰かを当てて答えるというスタイルでした。日本の授業は積極的に発表する人はほとんどいないけれど、留学先のクラスでは自分の意見を主張することが求められました。また、授業中でも先生に質問しやすかったです。 |
| 日本人でない留学生が、たとえ先生が話している途中でも、自分が分からないことがあったら授業を止めて先生にその箇所を聞くところが日本とは異なると感じました。クラスの多くが分からないところを質問しに行っていたので私も先生に質問することをためらわずに出来ました。 |
| 私のクラスは最初そんなにみんながみんなすごく発言をするというわけではなかったのですがあまり雰囲気は日本と変わりませんでした。ですが、イランの人は話すことに自信があって日本人よりは英語がうまかったのでその子に引っ張られてだんだんと発言しやすい雰囲気になっていきました。また、英語を話す機会が日本よりはあったので英語が常に飛び交っているクラス雰囲気はすごくよかったです。 |
| 1クラス13人と小規模のクラスで4技能を順番に授業をしていく。ほとんど日本の授業を変わらないがディスカッションは多めだった。先生が丁寧に授業を進めてくれてわからないところがあったら聞きやすい環境だったし、ペースはゆっくりだった。 |
| 基本は日本の授業と変わらないけれど、発表をたくさんするよう求められる。 |
| 質問があったら先生にすぐに聞けるようなあたたかい環境でした。しっかりやる時はやって、ペアワークやグループワークのときは英語を使って仲良くコミュニケーションをとりました。 |
| 一つの授業だけじゃなくて、すべての授業が英語で行われるので最初の頃はしんどかった。しかし、だんだん慣れていった。クラスメイトにも恵まれていたので楽しかった。先生も質問をすると詳しく教えてくれるので、とても親身だった。 |

| 授業の中で取り上げられたトピックで印象に残っているものは何ですか。 |
|---|
| プレゼンテーションです。3回くらいしましたが、どのプレゼンテーションも自分にとってとても勉強になりました。 |
| 授業で一番心に残っているトピックは、宇宙についてだった。宇宙についてあまり詳しくなかったし、宇宙関連の用語もあまり知らなかったが、改めて学ぶと新しい用語なども学ぶことができ、最後には宇宙の映画を見て、理解できたので一番勉強した中で楽しかった。 |
| プレゼンテーション |
| 宇宙の話題が印象に残っている。難しい単語が多かったが何度も何度も復習した。私はリスニングが苦手で、宇宙の映画を見て聞き取りを行うテスト |

をした時、何度も復習したおかげで聞き取ることが出来たので印象に残っている。

仕事や職業に関するトピックを勉強していた時、自分の将来の夢や叶えるためにすべきことや今の自分のスキルを英語でライティングしたこと、ほとんど毎回、早口言葉や R と L の発音などの練習をしたこと

スピーキングの授業にて food craving についてのトピックがありました。無性に何かを食べたくなる現象のことを指すのですが、塩分やカルシウム・ビタミンの不足が原因という学者もいれば、人間の感情が原因と考える学者もいました。クラスの皆で話し合うときに、様々な考え方がありとても興味深かったです。

授業の中に、カナダでおきた多くの女性が殺されてしまった事件について取り上げてくれたときがあり、そのときは地域でイベントが行われていて先生がそのイベントに連れて行ってきてこの事件はどういうものだったのかなどを学んだ日はとても印象に残っています。私の知らない海外で起きている問題がとても印象に残っています。

いくつかの質問があって賛成は1〜5反対の番号を選んでいって、グループで何番だったか見せ合ってなぜそう思ったのか話し合うというものが印象に残った。なぜなら、このような自分の意見を相手に伝えていることはある程度自分の頭の中で考えてから言えますが、相手が言ったことに対して意見を言うのは英語の瞬発力が必要でその授業によって鍛えられたと思ったから。

日本ではあまり発音の練習をしないけれど、留学先の授業では沢山発音の練習をした。英語で早口言葉の練習をいたのが印象に残っている。

私は偽物のものを作って販売する人がいるというトピックがとても印象に残りました。知らない英単語が沢山出てきてとても勉強になりました。また、例えば Amazon など高級なブランド品を買ったとしても、実際に鑑定士が商品を調べると本物とは違って、ロゴの一部がちがったり素材がちがったりするため、気をつけなければならないし、偽物を作ることはいけないということを学ぶことが出来ました。

コミュニケーションでやったリーダーシップというトピックが印象に残っている。今まで考えたことのないお題だったし、一番最初の内容だったので難しく感じた。それでも新しい視点や意見が学べて良かったと思う。

授業を受けるにあたって工夫していたこと、努力していたことはなんですか。

英単語をたくさん覚えたり、分からないことは先生に質問したりして、たくさん話しました。

わからないことがあったらすぐに英語の辞書で調べることが大切にした。また、わからないことや理解できないことは、積極的に先生に聞き理解できるまで質問することに努力した。

分からなかった単語を自分で作った単語帳に書いていた。

プレゼンテーションで企業家について調べた。原稿をただ読むというよりもどう伝えるかが大切にされていた。英語で話題について調べ原稿を作るのも大変だったが、その文章をしっかり理解し、声の大きさに強弱をつけたり身振り手振りで表現したりしながら伝えるのは難しく、恥ずかしさや抵抗もあった。しかし、何度も行っていくと英語を理解しながら話す感覚が少し身に付き、伝えたいことをだんだんと上手に発信できていると感じた。自分にとって難しかったプレゼンテーションだったが、一番努力し得られることが多い授業だった。

分からないところは先生に質問すること(自分が分かるようになるまで簡単な英語に言い換えて説明してくれるので質問しやすかったです)

次の授業の語彙や連語を予習してから授業を受けたことです。その日に新しく習った語彙やトピックについて、友達との会話で多く使ったり、話し合ったりしてインプットとアウトプットを意識して臨んでいました。

私は授業初日の席取りが一番重要になると思っていたので私は教室に入りすぐに一番前の席を取れるようにしました。そのおかげで発言しやすくなって先生にも一番近く、気軽に質問したりすることができました。また、なるべく他の人より質問や発言を多くできるようにわからなくてもとにかく何か言おうという気持ちで取り組むようにしていました。

先生の話の中で、自分が知らなかった単語や語彙があったらノートにメモして後で意味だったか調べた。また、わからないところがあったら積極的に先生に聞くようにした。

リスニングとスピーキングのレベルが高かったので、家に帰ってからも英語の動画を見たり音楽を聴いたり英語になるべく触れるように工夫した。

分からない単語はすぐに調べてノートに書きました。書く時は意味を英語で書くことで、英語でその言葉を理解出来ます。また、最低1回はわからなかった単語を会話にまぜてルームメイトと話すことで、覚えることが出来ました。

分からない単語や難しい単語が多かったので、分からない単語を習得する努力をした。語彙力が増えたと実感したし、授業の内容も頭に入りやすくなった。

2. 滞在先・自由時間の過ごし方について

| ルームメイトはいましたか。 | ルームメイトはどこの人でしたか。 |
|---------------|-------------------|
| 0人 | |
| 2人 | メキシコ、香港、韓国、日本、イラン |
| 3人 | 日本、韓国 |

| 通学手段 | 通学時間 | 主に食事はどこでとっていましたか。 |
|------|--------|-------------------|
| 徒歩 | 0-15分 | ホームステイ先 |
| バス | 30-45分 | ホームステイ先 |
| バス | 45-60分 | ホームステイ先 |

| 部屋に用意してあったものは何ですか。 |
|---|
| バスタオル、ハンガー、ティッシュです。 |
| 部屋には、ソファ、勉強机、ベッド、タンス、サイドテーブル、が用意してあった。 |
| ベッド、ソファ、テレビ、クローゼット、タオルなど |
| 机、いす、ベッド、クローゼット、メイク台など生活に必要なものは揃っていた。 |
| 勉強机、いす、ベッド、クローゼットなど必要最低限の家具が用意されていました。 |
| ベッド、勉強机、クローゼット。 |
| ベッド、机、クローゼット、タオル、洗濯かご。 |
| ベッド、机、クローゼット、ハンガー |
| ベッド 机 椅子 |
| ベッド、棚、机、ソファ、テレビ、シャワー室、トイレ、トイレトーパー、ハンドタオル、バスタオル、掃除用品、ゲーム |
| 机とベッドと備え付けのクローゼット |

| 自分で用意したものは何ですか。 |
|--|
| シャンプー、リンス、洗顔、カイロ、スリッパです。 |
| シャンプーやリンスなどの日用品、ヘアドライヤーなどは日本から持っていった。 |
| 洗面用具、衣類など |
| ココロ |
| バスタオルやシャンプー、リンスなどの日用品はホームステイ先にはなかったので、自分で用意しました。 |
| お菓子やティッシュペーパーなど。 |
| 洗面用品、スリッパ、ドライヤー。 |
| タオル、洗顔料やシャンプーなど |
| ティッシュペーパー、ゴミ袋 |

シャンプー、リンス、ボディソープ、洗顔類

鏡、日用品、衣類など

ホームステイ生活をする上で、日本と違って戸惑ったこと、驚いたこと。

お風呂に入る時間が10分と決められていたことです。部屋の中がとても寒かったです。

日本と違って戸惑ったことはほとんどなかったが、カナダはコンロを使用して料理をする機会がほとんどないことに驚いた。大部分はオーブンを使用していたし、揚げ物もオーブンで料理をしていてびっくりした。

朝食と昼食を一緒にするランチが主流だということに驚いた。

シャワーの温度調節が難しかったがすぐに慣れた。

自分の部屋で勉強するよりも、留学生たち専用のリビングでルームメイトと集まってすることが多かった。掃除や洗濯など自分のことは自分ですることが、実家暮らしだった自分にとっては驚きでした。

水道代が高いため、食器類は夜にまとめて洗うこと、シャワーを毎日しないことです。

あまり驚いたことはなかったのですが、ご飯を食べる際に私は家族みんなでご飯を食べると思っていたのですがそれが違って、個々でご飯を食べたりずっと部屋にいたり少し想像していた生活とは違ったので少し驚きました。他は大体行く前に調べていたものと変わらなかったのが驚くことはありませんでした。

食事のマナーが全然違うので驚きました。お皿を持って食べるとはマナー違反となるので、お皿を持って食べないようにとても意識しながら食べました。

シャワーのノズルが違うことと向こうでは洗う物はその都度やらず、貯めて洗うこと。シャワーのノズルは自分で動かせないので少し不便に感じた。

ホームステイを快適に過ごすためのアドバイスをお願いします。

冬に行く場合は湯たんぽやカイロなどがとても役にたつと思います。

わからないことがあったら、ホストマザーに聞くことが1番大切だと感じた。また、ルームメイトといろいろな話をして絆を深めることや、なるべくリビングでマザーとかと会話することで緊張が解けた、仲を深めることで快適な暮らしにつながると思う。

積極的にホームステイファミリーの手伝いをする。

しっかりホストファミリーとコミュニケーションをとること。送り迎えが必要な時、気を使ってしまいがちだが、思い切って言うこと。

ホストファミリーやルームメイトと積極的に会話すること、ファミリーに外食やお出掛けに誘われたときは予定がない限り行くようにすること、家事を手伝うこと

分からないことがあったら、ホストファミリーに聞くこと、日本の生活とは違うという認識を持つこと、水の使い方が日本とは違うということを知ることだと思います。日本にいるときから、その違いを意識するだけでもそのギャップは埋められると思います。

自分のリラックスできる時間を見つけることがとても大切だと思います。私は映画を見るのが好きなのでよく映画を見てリラックスしていました。たまたまホストファミリーと映画について話すことも出来たのでとてもいい時間だったと思いました。

積極的に話すことによって仲が深まるので部屋に引きこもらないことが大切。

様々な文化の違いを理解すること。

部屋に籠もるばかりではなく、リビングにいてホストファミリーとより多くコミュニケーションをとれるのがすぐに仲良くできると思います。私は3人の子供がいるお家だったので、子供たちと一緒にバスケットボールをしたりサッカーをしたりボードゲームをして仲良くでき、英語を学ぶことが出来ました。また、毎週金曜日は映画を見る日で、ホストファミリーと映画前と後で映画について話をするので英語の勉強にもなりました。

| パソコンは 持参しましたか | インターネットは部屋から 接続可能でしたか。 |
|------------------|---------------------------|
| はい | LAN ケーブルで可能 |
| はい | ワイヤレスで可能 |

| 携帯電話は 持参しましたか | 利用方法 |
|------------------|-----------------|
| はい | 日本から SIM カードを持参 |
| はい | 留学先で SIM カードを購入 |
| はい | 日本の携帯をそのまま持参 |

| 大学主催のプログラム/イベント/ボランティア/サークルなど。 |
|--|
| 大学が主催のアクティビティに参加していました。ボランティア活動にも参加しました。 |
| ボランティアには積極的に参加した。ハロウインの時はカボチャカービングを体験したり、地元の方と会話をしたりする機会などたくさん経験することができた。また、アクティビティにも参加をし、カナダのゲームやスポーツ観戦などをした。 |
| ボランティア活動 |
| 大学が終わったあと、ボランティア活動をしたり、学校主催のイベントに行ったりした。それ以外は、中国人やインド人の友達と会って話したり、お買い物や食事に行ったりすることが多かった。日曜日はバスがなかったので、家でホストファミリーと過ごしたり、近くのカフェに友達と言ったりした。 |
| 毎週金曜日にある大学主催のアクティビティに参加したり、SDGsのクラスで紹介されたボランティアに行ったりしました。ルームメイトたちとショッピングに行ったり、お互いの国の文化について話したりすることも多かったです。 |
| SDG program という授業の一環でボランティアを行いました。老人ホームで、入居者の方のお手伝い・交流、イベントへの参加、フェアに参加する方たちの荷物運びの手伝いをしました。 |
| 留学チームがたまにアクティビティを用意してくれていてそれに何度か参加して楽しみました。また、大学で様々なスポーツの観戦が出来たのでカナダ有名なアイスホッケーの試合やバスケットボールの試合も何度か見に行き行って時間を過ごしていました。 |
| 大学主催のハロウィンパーティーやダウンタウンで開催されているマーケットにもよく行った。また、マーケットなどが何も無い日は家においてルームメイトの子と映画を見たりした。 |
| ボランティア活動、友達と散歩、図書館で勉強、ジム |
| ほぼ毎週金曜日の授業終わりにアクティビティがあったので参加し、SDGsの授業の一環であるボランティアをして過ごしました。アクティビティはピザパーティーやハロウィンパーティーなどの楽しいイベントが企画されていたので、他の留学生と仲良くなるきっかけにもなりました。またボランティア活動では、老人ホームにいてパンプキンカービングをしたり、クリスマスクラフトの準備のお手伝いをしたりした。現地の方々と話すとてもいい機会になりました。 |
| ダウンタウンに行って食事したり、ショッピングしたりした。季節のイベントなどもあったのでそれに参加したりもした。 |

学内/学校近辺でよく利用した施設やお店など

2日間トロントに旅行しに行きました。合計で8万くらい使いました。

10月の前半に一週間ほど休みがあったので、トロントとナイアガラの滝にいった。飛行機代で3万円ほどかかった。三泊四日で1日目はナイアガラの滝に行き、その近くでホテルを取り泊まった。ナイアガラの滝近くのホテルはトロントと比べて比較的安い。二日目はトロントに行きトロントでホテルに泊まった。最終日は帰る便が次の日の朝だったので空港で一夜を明かした。

トロント旅行、10万円程、インターネットで飛行機、ホテルを予約した。

4日間の旅行でケベックシティに1人で旅行した後、外大生と合流してトロントに行った。費用は10万円強でエクスペディアやskyscannerというアプリを使って予約した。鉄道などの交通手段があったが私はすべて飛行機で移動した。

一泊二日でトロントに旅行に行きました。ネットで予約をして、費用は全部で約7~8万円くらいでした。

reading week という1週間程度の休みがあるときに2泊3日でトロントへ旅行に行きました。航空機やホテルの予約はネットで自分達で行いました。

私は旅行へ行っていないのでこの質問には答えることが出来ません。

2泊3日でトロント、ナイアガラにいった。ほとんどネットで飛行機、ホテルやナイアガラに行くバスを手配した。交通費だけで5万した。

サックスギビング中の3日間、約100ドル、トロントやナイアガラの滝、各自

旅行先はトロントで、直前に行くことが決まったので、飛行機代やホテル代が高額になってしまった。ナイアガラの滝やトロント市内、チャイナタウンなどに行った。ほとんど外食だったので税金やチップ代も高かった。合計で15万前後は行ったと思う。

3. 留学前準備について

留学前に取り組んだ準備

ホームステイのことについてたくさん調べました。またカナダやプリンスエドワード島のことも調べました。勉強もきちんとしました。

カナダは冬が寒いと聞いていたので、超極暖を買ったり、タイツを買うなど寒さ対策のものを準備していった。また、英語を話すのに慣れておこうと思い英会話をしていた。

日常会話を学ぶ。

TOEICの勉強をしていた。

スピーキングの強化、ホームステイで使える英語や調べたり、自己紹介を考えました。

カナダの文化や習慣をネットで検索をし、事前に情報を得ました。また、気候を見て、冬物の準備をしました。学習面では、敬語にあたる英語を暗記していきました。

私は留学に行って話していることがわからないのがいやだったので留学に行く前にリスニングを重視して勉強に取り組みました。また、留学先の名産物や有名なものを調べて留学に行ってから少しでも楽しめるようにしました。

単語の勉強、YouTubeで海外の生活の様子の動画の視聴

リスニングが大事だと思ったので、ひたすらリスニング問題を解いていました。また、日常会話をするためによく使われるフレーズを練習しました。

英語に耳を鳴らすために、英語の音声を聞く機会を増やしたり、洋画を英語字幕で見たりした。あと基本的な文法も復習した。

留学前にしておけばよかったと思う準備

スピーキングをもっと練習していけば良かったです。

会話で使用できる英語を身につけていたら良かったとおもった。また、英語で日記を書くことをしとけばよかったと感じた。なぜなら、日本語から英語に訳して話す時に、時間がかかり、上手く伝えることができなかったのも、日頃から日本語を英語に訳す練習をしていたら、スラスラ会話ができるのかなと思っただからだ。

留学先の情報の調査

リスニングや実際に話す練習

地元のことや日本に関することをよく聞かれるので、英語で紹介できるようにしておくのが良かったです。

発音です。私は発音が悪かったために、いくつか伝わらないということが多かったです。私が留学を経験し、感じたのは語彙の量よりも発音が大事だということです。

リスニングも大切で無駄ではなかったのですがスピーキングにももう少し力を入れる必要があったなと思いました。聞き取ることが出来ても思っていることがしっかりとさええずに後悔したからです。

何が必要かリサーチをたくさんすること。冬はカイロが必要。

もっと単語量を増やせば良かったと思った。

日本から持って行って役に立ったもの、または喜ばれたもの

カイロ、薬、日本のお菓子、洗濯物干しはとても役に立ちました。

モバイルバッテリーを持って行か迷ったが持って行って役に立った。なぜなら、ハリケーンのせいで10日ほど停電していたので、充電をりすることができたから、バッテリーがとても役に立った。

味噌汁

チョコレート、化粧品、マスク

日本食や日本のお菓子は土産にしても喜ばれるし、日本食が恋しくなった時のために持って行って良かったです。荷物が多かったので圧縮袋は凄く役に立ちました。洗濯ネットも何枚かあれば服がダメージを受けにくいのでいいと思います。

スリッパは、部屋の中で外靴をずっとはかなくても良いため持ってきて良かったと思います。

日本食は持って行って良かったと思いました。特に、味噌汁はホストファミリーも気に入っていたりとすごく役に立ちました。また、寒いときに活躍したのがカイロでした。海外では珍しいのかとてもいい反応をしてくれたので土産としてホストファミリーに渡すのも良かったなと思いました。

爪切り、剃刀

味噌汁、レジ袋(ごみなど何でも入れることができる)

日本のお菓子、日本の写真、日本のタオル

小さいクリップのついた洗濯物干し、小さいヘッドの歯ブラシ、イヤホン、

日本から持っていく必要のなかったもの

バスタオル

多くの服は必要なかったと感じた。上下合わせて 10 枚ぐらいあれば回して着ることができるし、多く服を持っていても、着る機会がない服もあったので最小限の服で良かったと感じた。

日本食、余分な服、ハンカチ

服は洗濯して着まわせるのでそんなに大量に持っていかなくてもいいです。かさばるし荷物になりました。

シャンプーやリンスの詰め替えを何個も持っていくことです。カナダにも、日本に売っているシャンプーの会社の製品がありました。

タオルや消耗品はいらなかったなと思いました。タオルは家に置いてあったので使わせてもらって消耗品はスーパーのどこでも売っていて手に入りやすかったのではなかったなと思いました。

私は長袖の服を上、下それぞれ 3 着ずつしか持って行ってなかったのですが十分でした。帰りはお土産など荷物が多くなるのでできるだけ衣類を少なくして行ったほうが良いと思ったし、海外はスウェットとかカジュアルの服装がほとんどなのでそんなに種類いらなと思う。

百円ショップのラーメンやパスタが作れる器。かさばるだけだった。自分用の日本のお菓子。

4. 留学費用について

お金をどのように準備しましたか。

現金と、クレジットカード 2 枚持っていきました。

現金をカナダドルで持っていったが、無くなったらクレジットを使用していた。クレジットカードを 3 枚ほど用意していたが、3 枚も使う機会がなかった。だが、現地でお金を引き出せるように、引き出すことができるクレジットカードを一枚持っていっていった。

もともと持っていた VISA カードを使用した

もともと持っていたクレジットカードを使用した。現金はできるだけ安く交換してもらうために、梅田で現金にした。

クレジットカード一枚、デビットカード一枚、現金

クレジットカードを2つと現金 400 カナダドルを持っていきました。結果的にこの方法で良かったと思いました。私の留学した地域では、たまに現金が必要な時が多かったため、現金は多めに持っておくと安心でした。

クレジットカードと現金を準備しました。ほとんど現金を使わなかったため現金は全然いらなかったなと思いました。

カード 3 枚、現金

クレジットカード 2 枚、現金 4 万円分

クレジットカードと現金

ほとんどデビットカードで支払った。

現地で支払った住居費と食費を教えてください。

毎日、ホームステイ先で朝昼夜ご飯が出ていた。休日に友達とレストランやご飯を食べにいった時は支払っていたがレストランなどで食べた場合一回 30 ドルぐらいしたが、ファストフード店は一回 15 ドルぐらいだった。

外食費3万

食費はホストファミリーが3食作ってくれたので、外食やお菓子で5万円くらいだと思う

住居費は事前に外大に支払った分だけで、食費は外食の時に一回でいたい 15~20 ドルくらい(ファストフードの場合は 10 ドル以下)

現地では払っていません。

友達と外食する時だけ1食約 15 ドル

テキスト代と通学費はそれぞれいくらぐらいかかりましたか。

テキスト代は2つで1万円しました。通学費はかかっていません。

テキスト代はリーディングブックとリスニングブックが必要だったけど友達とシェアをしていたので、一冊しか買わなかった。だが、一冊8000円した。通学費は3ヶ月分のバス券があったので費用はかからなかった。

テキスト代1万

交通費はバスの券1枚ですべてのバスに乗れた。テキストは2つで約2万円弱

テキストは二冊合わせて90ドルくらいでした。通学費は徒歩だったのでかかりませんでした。

テキスト代は1万8799円でした。大学側からバスの乗り放題のチケットを配布されたため、通学費はかかっていません。

どちらも留学費用で出したのでわかりません。

テキスト代1万、通学費は留学前に留学費用として含まれていましたが、バスパス。

交通費無料、テキスト代1万円

テキスト代100ドル、通学費はプログラムに含まれていたため、現地では払いませんでした。

テキスト代は三万円いかないくらい、留学費用がすべて計算すると130万いくかないかだと思う。

その他旅行や買い物など個人的費用は何にいくらぐらいかかりましたか。

10万くらいです。

旅行で合計七万円ほど使用した。お土産代が思ったよりも費用がかかったかなと思った。買い物などは服や日常生活に必要なものは日本から持っていたのでほとんど買わなかった。だが、古着屋があったのでよく通っていたが日本の古着と比べて比較的安いので5着買っても一万円は行かなかった。

10万

旅行で10万円強使った。お土産などで3万円ほどだと思う。

計算していないのですが日本円でだいたい10~15万円だと思います。

好きなお菓子を買うのに一週間で20カナダドルくらい使ったと思います。

約5万円ほど使いました。

外食や服の値段が高かったため大半外食で使いました。そのほかあわせて合計で20万。

主に外食費のみで、3万円ほど

約30万円

30万~50万

5. 学習面について

語学力・コミュニケーション能力の自己分析

積極的に外国人と話すことが出来ました。先生にもたくさん質問をしました。スピーキング、リスニングの能力をより上げることができたと感じました。

初めはホストマザーの行っていることが半分ぐらい聞き取ることができなかったけど、一カ月ぐらい経ってからはだんだんと聞き取れることができたので、会話をする機会も増えた。また、自分からリビングで積極的にマザーと話すことができた。

リスニング力が向上した。

コミュニケーション能力はとても上がったと思う。わからないことはわかるまで聞くことが大事だと思った。リスニングはゆっくりで聞き取りやすい英語だと理解が追いつくが、早いとまだ難しく感じる。

リスニング力は留学前に比べて伸びました。耳が英語に慣れて、聞き返す回数も減りました。グループワークが多く、いろんな人と話す機会も多かったため、コミュニケーション能力も上達したと思います。

かなり伸びたと思います。最初は自信もなく、思ったとおりに伝えることが出来ませんでした。しかし、慣れていくにつれて、自分の言いたいことが瞬時に言えるようになりました。

とても満足のいく英語を身に付けることが出来たというわけではないですが、スピーキング力とリスニング力は少し伸ばすことが出来たのでよかったです。もう少しスピーキングに自信を持って日々過ごすことが出来ていればもう少し伸びたのかなという気持ちがあります。海外では自分から話しかけることが大切だったので日本にいたときと比べるとコミュニケーション能力が上がったと思います。

語学力はもちろん上がったし、語学力を上げたかったのでクラスにいる日本人ではない留学生に積極的に話しかけに行った。言葉を伝えるのが難しい分、ジェスチャーやリアクションを大きくして顔で何が言いたいかわかるぐらいにまでにしていました。

留学前では、ボランティア活動に沢山参加し、様々な人と関わる機会が多かったためコミュニケーション能力は留学前よりも伸びたと思う。しかし、英語で思っていることをきちんとそのまま伝えることは非常に難しく、まだまだ語彙力を増やす必要があると感じた。

留学に来る前は、英語が好きという気持ちと実力に差がありました。また、英語でコミュニケーションをとる時は日本語で考えてから英語に訳すように話していたため、スムーズに会話することが出来ませんでした。しかし、カナダでの授業は文の構造を細かく説明して頂いたためより英語について理解が深まるきっかけになったと思います。また、日本語で考えてから英語に訳すという考えではなく、英語から英語で考えることによって日本語では伝わりきらないニュアンスや言い回しを分かりやすく理解することが出来るようになりました。そのため、留学前と比べるとスムーズに会話することができるようになったと思います。

ステイ先の家族が中国人で、最終的にはあまり会話しなかったのと、クラスもほとんど日本人だったのでスピーキング力の劇的な成長はないと思う。しかし、耳が英語に慣れた感じはある。リスニング力が行く前よりは伸びたと思う。あとは発音も矯正されたと思う。

留学前の目標とその達成度

外国人とたくさん話すこと。80%くらい達成することができました。

英語を聞き取ることができ、正確な発音で英語を話すことができることを目標にして行った。聞き取りは行く前よりも断然にできるようになったので、日本に帰ってからも英語を動画などを見て聞く。発音は、授業で何度も学ぶことができたが、まだまだなので今後の課題でもある。

留学前スピーキング力の向上を目標としていた。前より飛躍的に成長したと感じる。

留学前、積極的に話したり、理解したりしながら会話をするを目標とし、達成度は70%ほどだと感じている。なぜなら、積極的に話すことの大きさを学ぶことができ、ゆっくりの会話なら理解しながらできたと感じたからだ。

リスニングとスピーキングが一番成長しました。留学前は英語ペラペラになって喋りたいと思っていたけれど、思っていたほど成長しませんでした。しかし、日本と違った文化に触れて、たくさんの人に出会って考え方が広まったと思います。

留学前の目標は、多くの人と積極的に交流をする。一回で聞き取ることでした。達成度は50%だと思います。理由としては、大学内の同世代の人には話しかけることが出来なかったからです。しかし、ホストファミリーの友達である年配の方とは、一緒に食事に行ったり、家に招待していただくまで仲良

くなれたので 50%は達成できたと思います。

留学前はネイティブと不自由なく話すことが出来るようになる。という目標だったのですが、その達成度は 70 パーセントだと思います。大体の会話は理解することが出来てそれに質問など会話が出来ていました。しかし、難しいトピックについて話したりするについて行けなくなったりスラッグなどが会話に出てくると難しくうまくコミュニケーションがとれなかったので 70 パーセントくらいだと思います。

目標は語学力をあげることで、私はできる限りのことをした。私は語学力より違うところが成長したと思う。いろいろなことを経験して自信がついたし、色々なひとに出会って自分も人に対して優しくして助けてあげたいとより強く感じるようになった。人間力が上がった気がする。また、私と他の留学生との勉強に対する取り組みの姿勢が大きく違って自分のために勉強をしないといけないなと感じた。

留学前の目標は、リスニング力とスピーキング力を伸ばすことだった。リスニングは、カナダで生活するにつれ、耳が少しだけ英語に慣れることができたので、自分でも成長したと感じた。スピーキングは、発音がまだまだ自分は悪いのでそこを今後の課題にしたい。

私の目標は、たくさん英語を話すことでした。はじめは、話したくてもどの単語を使ってどう説明すればいいのかわからなかったので自分の言いたいことを伝えられませんでした。しかし、授業でわからなかった単語を使って話してみたり、友達から教えてもらったスラッグを使って話してみたりすることで、少しずつ話せるようになりました。また、先生や友達が私のプレゼンやスピーチを聞いてネイティブに近い発音をしているねと褒めてもらう機会が多かったので、英語を話すことに自信を持てるようになりました。

リスニング力を上げることと、旅行に行っても困らない程度の英語力をつけることが目標だった。この目標は達成されたと思う。

留学を通しての成長ポイント

プレゼンテーションなどで、英語を話す自信を付けることができました。また、先生や友人とたくさん話して、リスニングとスピーキング力を上げることができました。

どのような状況になっても、ポジティブな考え方ができる。行ってすぐに、コロナにかかり、ハリケーンの影響で10日間停電なども経験した。その時に、マザーのポジティブな考え方に影響もらった。その後から留学生活で何が起きても前向きに考えることができた。

積極性が身についた。英語をたくさん話したいため、先生や町の人に積極的に話しかけた。

トラブルに動揺せずに対応する力が成長ポイントだと思う。私たちはとにかくトラブルが多かった。そのたびにコミュニケーションをとったり、厳しい状況の中自分がすべきことを理解しなんとか対応できたと思う。自分から動き、インターネットには書いていないことがたくさんあると感じた。

一番身についたのは英語のリスニング力です。また、留学中はホストファミリーやルームメイト、クラスメイトなど多くの人と関わるが多かったのでコミュニケーション力も上がったと思います。

間違いを恐れずに話すこと、自分の意見を伝えることだと思います。

留学を通して日常会話でよく使う言葉や単語の使い方など、日本では学べないようなことを学ぶことができました。また、自分自身の成長も感じる事が出来ました。初めての海外だったということもあり不安な状態で行って、その上様々なトラブルに巻き込まれました。そのときはどうなるかと思いましたがなんとか乗り越えることができ私自身とても成長を感じています。

積極性が増したと思う。外国は分からないことだらけだった。メニューに書いている料理も何かわからないし、例えばバスは日本のように次この駅で降りしてくれるかアナウンスしてくれず、わからなかったので人に聞くしかなかった。また、精神が強くなった。トラブルもたくさんあったし、英語が伝わらなすぎてあきれたことは何回もあって憂鬱になったことは何回もあるけど 3 か月の留学が終わって自信がついた。

リスニング能力が伸びた。また、ハリケーンの停電やフライトの遅延などを通して何事も諦めず様々な状況に対応できる力が身についた。

私は協調性が今までより身についたと思います。例えば、ハリケーンが来て 1 週間停電した時、ホームステイ先のおうちの庭の倒木をホストファミリーと協力して木を切ったり、ホストブラザーと一緒に暖炉に木を入れたりしました。また、ルームメイトと同じ部屋だったので協力して掃除や洗濯をしました。同じ部屋だからこそルームメイトと仲良くなれたし、協力することの大切さを学ぶことが出来ました。

留学前/留学中/留学後の語学学習に対するモチベーションの変化

外国人と話すことは自分の思いを伝えるのが難しいけれど、伝わった時はとても嬉しくて話すことが楽しかったです。

留学前は少しでも英語を話せるように英会話などを行っていた。留学中は日本人の友達とでも英語で会話をしたり、ホストマザーと話す機会を自分で作るようにしていた。そのおかげで、リスニング力や会話をする力がついたと思う。日本に帰ってからは、リスニング力を低下させないように、動画などを見て維持したいし、もっと海外の人と話す機会を持ちたい。

英語をもっと学びたいという気持ちが大きくなった。特に TOEIC の勉強に力を入れたい。

留学前、準備をぎりぎり終わらせモチベーションがほとんどなかった。留学に行きすぐ、飛行機遅れや荷物未着、ルームメイトのコロナ、ハリケーンがあり留學生活どころか生活が大変だったのでモチベーションがなかなかあがりきらなかった。しかし、ハロウィンやハリケーンを機に友達ができ、英語を使ってコミュニケーションを取り始めたころからモチベーションが上がり、今でも連絡を取り合うため、英語学習に対するモチベーションが高いままキープされていると感じる。

留学前は TOFEL や英検などの勉強に力を入れていたが、留学中と帰国してからはスピーキングやライティングの練習も意識するようになりました。

留学中に一度、間違えることが怖い、なかなか言いたいことが伝わらないから話したくないと考えた時期がありました。しかし、留学に来たことの意味を再確認し、気持ちを切り替え、完璧に話せなくても良いという考え方をもってからは、今までどおり英語学習を継続出来たと思います。

特にモチベーションは変わりありませんでした。留学前と留学中のモチベーションは変わらず新しいことを知れることがうれしくて弱音も吐かず楽しんで勉強に取り組むことが出来ました。また留学後は、もっと英語について知ってうまくなりたいと思っているのでやる気はともあります。留学へ行きもっと英語の勉強をしたいと思うことが出来ました。

留学前はただ頑張ろうと思っていたが、留学を終えると英語の良さに気がついたし、もっと留学で出会った人と話せるようになりたいと思った。また、留学で出会った人の中で自分も英語を勉強して話せるようになったという人を何人もいた。その人たちは、私だって失敗するしみんなも失敗するからどンドン喋って失敗してよいという雰囲気、たくさん英語の本や映画をみて触れたら話せるようになった、頑張ると言ってくれた。この年で英語がこんなに話せないのは日本人しかいないし、自信もあまりないときに言われたので頑張ろうと思えた。

留学前より、留学中の方がリスニングや発音などの学習に対するモチベーションが高かった。しかし、留学から帰ってきて、英語に触れる機会が留学中より減ってしまったので、もっと英語に触れて学習する必要があると感じている。

留学前は海外に行ってホームステイをして大学へ通うドキドキと不安が大きかったので、リスニングやスピーキングを勉強するモチベーションはとても高かったです。留学中は、授業の予習復習をしたり、ホストファミリーと毎日お話をしたりするので、もっと色々なことを学びたいと思いました。留学後は、カナダで学んだことを忘れないようにするために、1日30分は英語に触れるようにしています。留学前よりも留学後の方が語学学習に対するモチベーションは高いです。

留学前と留学中が一番モチベーションが高かった。帰って来てからは疲れてしばらく英語に手がつかなかった。

留学中 100%力を振り絞った瞬間

プレゼンテーションです。たくさん練習して、いい結果を残すことができ、自分の自信にも繋げることができました。

コロナウイルスに感染した時に、みんなホテルか出てホームステイ先に行っているのに、10日一人でホテル生活したことはとても孤独だったし隔離期間は外に出れず、精神的にキツかった。だが、スーツケース二つ持ってホテルを移動したことや、フロントでの手続きなどが一人でできたのは自分の中で力を振り絞ったことだと思う。

留学先の学校でインタビューを受けた。その際、自分が出せる100%の力を振り絞った。

ハリケーンで情報が全く得られない時にいろんな人とのつながりができ、コミュニケーションから様々な情報を得たこと。

留学して3週間たったあたりにコロナウイルスに感染しました。身体的にも精神的にも辛い中、母国語が伝わらない状況に逃げ出したいと思うこともありましたが、しかし、これもしようがないことと考え、前向きに物事をとらえていったことは力を振り絞った瞬間だったと思います。

毎日車でホストマザーに送り迎えをしてもらっているときが一番、頑張った場所でした。ホストマザーが忙しく話す機会があまりなかったのですが、唯一落ち着いて話すことが出来る時間だったので自分から話しかけるなどをして頑張っていました。

ルームメイトと会話したこと。when や if を使うとき頭で整理するために話すのがゆっくりになってその分伝わりにくいし、どういこと？と言われる頻度も増えた。どゆこと？と言われると話す勇気がなくなるけど yes や really?しか言えない自分が嫌で、あつてるかどうか分からない単語も積極的に使っていつか伝わらなければジェスチャーや他の単語、それでも伝わらなかつたら翻訳機を使おうという当たって砕ける精神に変わった。そしたらより仲良くなれた気がする。

停電中の電気がない生活に耐えているとき。最後の英語のテストと、プレゼンテーションの練習。

SDGsの課題であった、Quality Education についての12分以上のプレゼンと自分のプロフィールや授業を通して学んだことをワードやPDFなどでまとめるポートフォリオに力を入れました。プレゼンはクラスメイトと2人で協力して議題についてまとめ、話し手に内容が正確に伝わるように話す練習を沢山したため、終わったあとはとても達成感のあるものができたと感じました。また、ポートフォリオはただ自分の意見をまとめるのではなく、分かりやすく見やすいようにデザインを考えて作ったので、先生からの評価でとても褒められた時は嬉しかったです。

知らない人と会話するときや、ホームステイ先の家族と会話するとき。

留学先大学の良かった点

ジムやファストフード店などが入っていてとても便利でした。キャンパスはとても綺麗で、イベントもあって楽しかったです。

コロナウイルスに感染した時に、留学先がホテルを手配してくれて、とても助かった。また、留学先大学の留学生担当の方がホームステイなどについての面談する時間を設けてくださっていて、学生をとてん気にかけてくれているんだと感じた。

クラスが少人数で先生に質問しやすい環境だった。

人がいいのが一番だと思う。治安が良く都会に比べて盗難などはほとんどなく、落とし物も見つかる。

先生と生徒の距離が近く、質問をしやすかったこと、大学主催のアクティビティやパーティーなど交流の場が多くあったこと

自習スペースが多かったところ。

大学内がとても広くきれいで施設がそろっていたところがすごくよかったです。図書館やカフェ、ジム、プールなど学生がリラックスできるスペースや勉強できるスペースがあつてとても過ごしやすかったです。また学校にはいろいろな国の人が様々な学部で勉強していました。そのおかげで私も少し他の学部について興味をもつことが出来ました。

UPEIは小さい島にあり、高い建物もない田舎にあつた。遊びに行くところが3か所ぐらいしかなくてバスもそんなに本数がなかつたので車が必要だと感じた。しかし、旅行でトロントに行ったときにPEIの人は優しく温かいなと感じた。しかもすごく安全だった。

先生が優しくあつた。ジムなどの学校設備がととのっていた。また、停電の際は食料を無料配布してくれた。

先生の授業がとても分かりやすかつたこと。また、アクティビティがあつたので、カナダのことを知ることができ、ほかの日本人留学生と仲良くなることも出来ました。